

新しい年を迎えて



飛鳥村長

久野時男

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日本人選手が過去最多のメダルを獲得したりオ五輪、大隅良典東京工業大学荣誉教授のノーベル生理学・医学賞受賞、「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録などの明るい話題で日本中が沸いた一方で、四月に発生した熊本地震は甚大な被害をもたらしました。被災地へ本村からも職員を四名派遣し、家屋の被害認定調査等を行い、被災地の復旧・復興支援を行いました。

本村は、平成十五年十二月に「東南海・南海地震防災対策推進地域」に指定され、将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震に備え、平成二十五年年度から一時避難所・拠点避難所の整備を行っております。

本年度末までに、新築四棟（三福・大宝、北拠点、新政成）、改修二

棟（南拠点、公民館分館）の避難所が完成します。

今後も更に整備を進め、津波から村民の皆様方の生命・財産を守るため防災・減災対策に取り組んでまいります。

さて、昨年一月には豊根村と、六月には鹿児島県南種子町と友好自治体提携を結びました。そして、十一月に開催の飛鳥村郷土芸能祭において、両町村の郷土芸能の踊りを披露していただき、物販ブースでは、特産品の販売を行っていたことができました。今後とも、相互理解と両町村の活性化を図るため、多方面での交流を行ってまいります。

また、昨年度、皆様方にご協力をお願いしました国勢調査の結果、本村の人口は平成二十二年国勢調査から約三パーセント減の四三九七人となりました。この結果からも、少子高齢化・人口減少対策は喫緊の課題となっております。

定住化促進及び人口減少対策の一助のため進めてまいりました地区の第一期住宅地分譲につきましましては、ご好評のうちに完売いたしました。第二期分につきましても、平成三十年春頃の分譲開始を目指して整備を進めてまいります。そして、皆様方と共に、次世代へ自信を持って引き継ぐことができる「活力（にぎわい）のある村」を実現するため、誠心誠意全力を尽くしてまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜ります

よう、お願い申し上げます。最後になりましたが、本年も皆様方のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成二十九年 元旦

新春を迎えて



愛知県知事

大村秀章

あけましておめでとうございます。昨年は、リニア中央新幹線の愛知県内での本格着工、MRJの米国内での飛行試験開始など、日本の未来を創るプロジェクトがまたひとつ大きく前進しました。

また、二〇二六年アジア競技大会の開催決定、有料道路コンセッション、公道での自動走行の実証実験など、新たな取組に果敢に挑戦し、着実に成果を挙げた一年となりました。

今年も、こうした取組を発展させるとともに、新たな取組に積極的にチャレンジし、愛知の可能性を大きく広げる一年としてまいります。

二〇二七年度のリニア開業に向け、鉄道・道路網の強化など

中京大都市圏づくりを着実に進めながら、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の強化、国際展示場の整備などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

また、JAPAN's Heart of Technology & Traditionをキャッチワードに、武将観光やユネスコ無形文化遺産に登録された日本一の山車からくりなど愛知の魅力の創造・発信に取り組みとともに、積極的に国際交流を進めてまいります。

そして、認知症対策の拠点づくりとなる「オレンジタウン構想」にも着手するほか、医療・福祉、教育・人づくり、防災・環境、東三河地域の振興にもしっかりと取り組み、愛知の総合力に更なる厚みを増してまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十九年 元旦

